

学校評価

《平成29年度 学校関係者評価》

まとめ

項目	自己評価	適/不適	評価	評価に係る提言・今後の改善等
(1)教育理念・目標	3.8	適切	<p>学校全体の教育理念・目的を学院内・地域社会にも明確に示している。</p> <p>学生の就職を第一の目的として、個々の学生に対して全面的な支援しているところが、理念として評価できる。</p> <p>貴学院の理念・目標を教職員の方々が理解し実践されていると素直に感じています。</p>	<p>学生・保護者にさらに浸透させてほしい。</p> <p>自己点検の中で、理念が「全ては学生のために」とあるが、漠然としている。もう少し具体があった方がよい。</p> <p>例えば「社会を生き抜く素養を身に付ける」など。</p> <p>学力だけでなく、社会で通用する人として人間性を高める教育も取り組むべき。</p> <p>学生さん・保護者の方々だけでなく、高校の先生方にも学院の魅力をもっとアピールしては。</p>
(2)学校運営	4.0	適切	<p>学内外の研修・講演会への参加に力を入れている。</p> <p>学院長を中心に組織化され、理念に基づいたガバナンスが実施されていると同時に、職員とのフラットな意思疎通も十分行えている。教育機関にありがちな、長時間の過密な就労は見られず、適切な学校運営が行われている。</p> <p>民間企業・業界団体の意見を取り入れ、実践的な授業が展開できている事は他校との差別化となり特色となっているのではないのでしょうか。</p>	<p>業務効率化にさらに努力してほしい。</p> <p>自己点検の中で、教育理念に基づいたという文言がないが、実際は、そのような運営が行われている。また、職員のスキルアップが言及されているが、それは教育活動の中で述べられても良い。</p>
(3)教育活動	3.8	適切	<p>教育理念に沿った教育課程の実施、カリキュラム教育の実施、資格取得の努力、授業評価などがなされている。</p> <p>カリキュラムについては個々の授業の目的、内容の明確化、ならびに充実が図られ、一定の評価はできる。</p> <p>専門的資格の習得を目標に掲げつつ、時流に合わせて教育課程を見直している取り組みは良いと思います。</p>	<p>教職員の研修の機会をさらに設けてほしい。</p> <p>今後のカリキュラムに対して、学生のレベルに応じた独自の教材の蓄積が学校法人の特色として、必要になってくると思われる。また、それがネットワークを介して自由に閲覧される仕組みが望まれる。</p> <p>薄く浅い多彩な技術の教育より、学生レベルであっても、「この言語は完璧です。」と言えるぐらいの学生の方が魅力を感じます。</p> <p>カリキュラムの編成上厳しいかもしれませんが、異色な講義を取り入れてみては。(学生の目先・意識が変わるような)</p>

項目	自己評価	適/不適	評価	評価に係る提言・今後の改善等
(4)学修成果	3.8	適切	学生への修学・就職の指導は綿密におこなわれており、県下トップの成果を継続させている。このことは県下に広く周知されている。卒業生の追跡調査も行っており、卒業後のサポートや学生の就職に役立てている。 社会人としてのマナー教育については、他校学生と比較しても教育出来ていると思われま。	卒業後の活動の把握にさらに努力してほしい。 学修成果について、県外にも発信を行い、優秀な学生育成の全国規模の拠点を目指すべきである。 インターンがベストですが、先輩の就職先に企業訪問を行い、先輩の仕事を見学させてもらうことは就職イメージが出来てよいのでは。
(5)学生支援	4.0	適切	進路・就職に対する支援体制、学生の経済面・健康面の支援体制が十分なされている。 課外活動・メンタルケアについても他に類を見ない取組が行われており充実している。 学院として、学生の心のケア・身体の健康管理に配慮され、常に保護者とも連絡の取れる体制を作られていることは評価できます。	学生の生活環境・卒業後の支援などへも関与してほしい。 様々な取り組みがネットワークを介して実施されることが望まれる。 保護者による後援会組織には歴史ある貴学院のOBにも参加してもらい、側面から支援してもらっては如何でしょうか。 現在も頑張ってもらっていますが、学生さんの心のケアを念入りにしてあげてほしい。
(6)教育環境	3.8	適切	厳しい予算の中、環境整備を精力的に取り組んでいる。 教育設備としては申し分なく整備されているのではないのでしょうか。	学院内外の研修にも引き続き力を入れてほしい。 教育教材については、それが学院の特色となる。更なる充実を期待したい。
(7)学生の受入れ募集	4.0	適切	学生募集に力を入れている。広報も十分である。 精力的に学生の受け入れ募集が行われている。 ホームページが刷新され、またSNS等も活用されており、貴学院の取り組み等の紹介がわかり易くなっています。	学外のお他組織との連携や共同活動による地域社会への広報にも力を入れてほしい。 大分は学習環境として適した地域である。特に生活のし易さは特筆される。衣食住を考慮した全国規模の受け入れ体制を確立すべきである。 システムエンジニアを志す学生が減っていると聞きます。高校の進路指導者への訪問の強化、併せて学院を見てもらう機会を作られては。
(8)財務	4.0	適切	適切な財務管理の中、効率的な学院運営が行われている。	

項目	自己評価	適/不適	評価	評価に係る提言・今後の改善等
(9)法令等の遵守	4.0	適切	適正に行われています。	個人情報保護の取り組みとして、Pマークの取得を検討されては如何でしょうか。
(10)社会貢献・地域貢献	4.0	適切	高校への出前講義、県下企業で構成される情報サービス産業協会への参加など、様々な取り組みがなされており、評価できる。 学業の傍ら、自発的に清掃活動・ボランティアに参加される姿勢は評価できます。	さらに幅広い地域貢献・社会貢献に力を入れてほしい。 県下の大学や高等専門学校との共同貢献についても検討されると良い。 大分県情報サービス産業協会に産学連携での企画等を提案してみても如何でしょうか。 地元就職を希望する学生には、早いうちから地元の行事等へ積極的に参加してもらいコミュニケーションを取りやすくするよう呼び掛けては。
(11)国際交流	--	--	--	国際交流については、自己点検の中になく、今後の対応に期待したい。

<平均> 3.9